

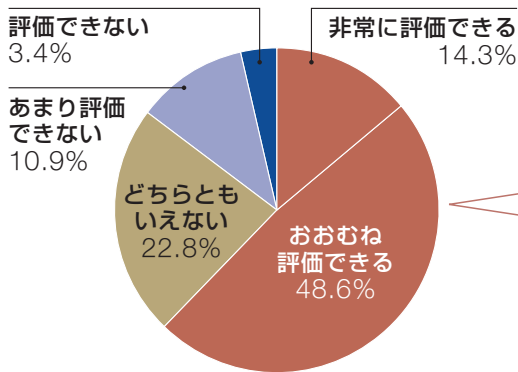
文/久川桃子(エコママ プロデューサー)

花王はエコナ問題で、当初「安全に問題なし」としたが、その後、消費者庁にトクホ許可を自主返上した

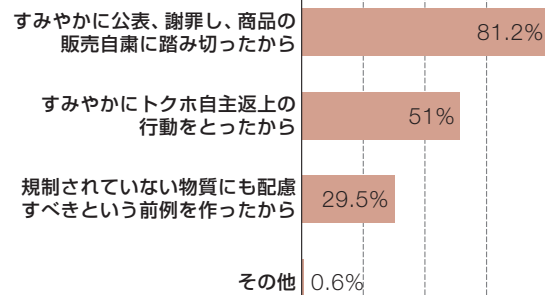


花王の対応「評価する」が6割

●「エコナ」問題への花王の対応をどう思う？



●評価できる理由は？(複数回答)



ecomom読者を対象にインターネットで回答を求めた。有効回答数は3336。調査期間は2009年11月18日~12月11日

雑誌ecomom(エコママ)は、環境意識の高い女性に向けて、家族と自然にやさしい暮らしを提案している。今回は、エコママ読者に対し、特定保健用食品(トクホ)だった食用油「エコナ」に発がん性物質に変わる可能性のある成分が含まれていた問題での花王の対応について聞いた。

結果は、「非常に評価できる」「おおむね評価できる」が合わせて62.9%と過半数を超え、「評価できない」「あまり評価できない」の14.3%を大きく引き離れた。その理由を聞くと、「すみやかに公表、

謝罪し、商品の販売自粛に踏み切った」と答えた人が81.2%と、花王の初動に評価が集まっている。

この数字からは消費者は花王の対応におおむね満足しているかに見える。しかし、自由記述欄には1700件を超える書き込みがあり、複雑な心境が見え隠れする。「体にいいと信じて使っていたのに、残念」「大切な人への進物にしていたのに困惑している」「健康にいいとうたうなら、もっと厳格な基準にすべき」といった、花王やトクホへの否定的な意見が多い。一方で、「トクホだからと、飛びつい

てはいけないと反省した」などと、自らを律する意見も目立った。

身近な問題だけに関心も高く、誤解や偏見も多い。消費者は企業側にすみやかな対応を求めているが、その中容については企業側はより深く検証する必要がある。

ecomom(エコママ)読者のプロフィール

ecomomは現代の便利な暮らしを否定するのではなく、ちょっとした心がけで家族や自然にやさしくできる生活情報を発信する「日経エコロジー」別冊。平均年齢は39.8歳。企業や自治体の環境関連イベントに参加したい人、87.5%

